

藤枝女性防災ネットワーク（藤枝市）

地域防災への女性参画を促進する 女性リーダーのネットワーク

組織概要

- 令和2年度に「防災分野への女性参画」「多様性や女性に配慮した避難所運営体制の構築」「女性防災リーダーの育成とメンバー同士のネットワークの構築」を目的に設立された、女性リーダーのネットワーク組織。
- 市の支援を受けず、ネットワークの自主性により運営することを目指し、メンバーが事業を企画・運営。
- 災害ボランティア団体、町内会の役員や主婦など、公募による参加も含め、多様なメンバーが入れ替わりながら令和5年度は12名で活動中。

きっかけ・課題

- 南海トラフ地震の発生が想定される中、自助・共助を中心とした地域の防災対策を推進することや地域防災活動への女性参画の拡大、女性の視点を取り入れた避難所運営の検討・推進を行う必要があるという認識をもった市が、地域防災指導員や男女共同参画推進委員等の防災に関心がある女性に声をかけ、結成された。

取組概要

- 「女性の視点を取り入れた避難所」リーフレットの作成(令和2年度)
⇒男女別の着替えスペースや授乳室の設置など、避難所で考慮すべき事項やレイアウト等をネットワークで検討し、リーフレットにまとめた。
- ネットワークメンバーによる防災講座の企画・運営(令和3年度)
⇒地域の保健委員を主な対象に、防災講座を開催。講座で話す内容や展示物、研修プログラム等の企画・検討から、当日運営もメンバーにより実施。
- モデル地区のレイアウト案を検討(令和4年度)
⇒自治会や避難所運営組織と連携し、地域の避難所の一つをモデル地区として設定。地域の避難生活計画書をもとに、どの様なレイアウトが最適かの検討・提案を行った。
- 子育て世代に向けた防災講座を実施(令和5年度)
⇒地域の災害リスクの確認や月齢に応じた食品などの備蓄品を見ながらディスカッションするなど、子育てと防災を絡めた講義を行った。

ポイント！

- 多種多様な経験を持つ女性が参加しており、情報交換がメンバー相互の防災知識向上につながっている。
- ネットワークにより深めた知識を地域に還元していくため、市内自主防災会との連携を図り、女性視点からの気づきを防災に反映し、多様性への配慮を推進していく。
- 活動を通じて地域と繋がりが生まれた結果、避難所運営組織の役員になったメンバーがいる等、地域防災への女性参画の成果も現れている。



(上)子育て世代に向けた防災講座
(中)事業の企画・検討会議
(下)作成したリーフレット

団体連絡先

藤枝女性防災ネットワーク（藤枝市）
藤枝市役所 総務部 危機管理センター
地域防災課（☎054-643-2110）